６年生児童の感想文

特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター

東日本大震災のつづき。
東日本大震災がおきたのは ぼくが3歳のころ
でした
今話していた人がどれだけつらかったのか
すごくつたわるし、DVDを見ていても、
いろんな物がながされたりしていてびっくり
しました。
しかも、いなん所にはいろんなんでいっぱいだし、ごはんも少しかないゆえ
よく生活できるなーと思いました。
東日本大震災のせいで多くの人が家族がいなくなったつらさは ぼくにも
伝わってきます。
今日の動画を見て君はいろんなつらい
ことがあるんだなーと思いました

中村姫咲

DVD見させていただきました。正直
私達は3才で何も覚えていませんで
した。それに被災を体験していないの
で実感がありませんでした。
みなさんのお話を聞いて、あたりま
えにくらせるのがどれだけ幸せか
が分かりました。話しを聞いている
だけでこわいのに体験したら
絶対に忘れられないと思いました。
「故郷を忘れられない」と言っていた
時にとても心が苦しかったです。
私達に今できることは日頃の防災訓
練などをしいつ地震がおこっても
大丈夫な状態にしておこうと思いま
す。ありがとうございました。

江口 葵

東日本大震災があった2011年の僕
は、まだ物心がなかった年ごろだった
ので、あまり当時のことを覚えていま
せん。ですが、今回実際に被害にあった
人からのコメントで東日本大震災の怖さ
がよく分かりました。また、実際の東
日本大震災の映像を見ると、波に
よって流された車などがおしよせて
いるところを、人が必死に逃げていて
恐怖でしかありませんでした。ですが、
今僕たちがいるということは、東日本
大震災という恐怖をのりこえて、一
生けん命修復してくださった方々のおか
げだと思います。だから、僕はその方々
への感謝の気持ちを全えさたたいます!

浜辺瑛太

私は以前に、東日本大震災について
何度か話を聞いたことがありました。
しかし、いくら聞いても当時の状況
が想像できませんでした。ですが、
この映像と被災した方からのお話
を聞いて、もし、自分の目の前にあの
状況があると思うと、とても怖くて、
改めて災害の恐しさというものを
理解することができました。いつ、また
大震災が起こるのか分からないので、
日頃から、震災に対しての意識と
準備が必要だと学びました。

牛田新菜

私は東日本大震災の事はつなみが
ひどくて多くの人がなくなったって
ことぐらいだったのでひさい者
の方々の話を聞いてひなん所の
体育館人がいっぱいでわいて
る所をさかすだけだったとそうした
という事や家の中でダンスなど
たわむれていて大が安全なけんかん
でまていたという話を聞いて地
って怖いなそういうのを思いました
これから先いつどこで震しん
がくるか分からない地震がきて
いつ家族をうしなうか分からない
だからしっかり準備して震災などに
そなえたいです

宮永 結琴

この3人の人の話を聞いてぼくはすご
く東日本大しん災は怖いものだなぁ
と分かりました。実際のやつを見
たらいきなりすごいゆれがきて
電柱やいろいろなものがどん
と入れかわって本当にやばかった
です。ほんとうにこわいなと東日
本大しん災のせいですごくとお
いいところに住いてやばかった
です。すごい量の死体がわったり
しょくようもすくりないといってい
ました。前からけっこうお母さんに
いわれてたけどその動画を
見たらもと東日本大しんさいはとっ
てもおそろしいものだと分かりました。

拓人

ぼくは、大震災の事は、ぜんぜんおぼえていませんでしたでも みなさんのお話を聞いて本当に大変なんだとわかりました。そしていつものくらしがいっしゅんでくずれてさみしくつらく大変だったと思いします。でもそれをのりこえたみなさんは、本当にすごいと思います。

齋藤 陽斗

ぼくはこの動画を見て思ったのは、かわいそうとかじゃなくてかくぜんとしてしまった。動画を見ている時は、声が出なかった。新らためて地震の怖さが頭から足伝わってきた。本当に怖わかった。逃げている人がのむこまれるのがテレビにうつったっていう先生の話がこわかった。先生の前の女の子が「また死にたくないよー」と言っていてびっくりした。ぼくたちが今笑ってくれるのはどん欲に幸せが伝った地震で亡くなってしまった人たちのためにもいっしょうけんめい生きようと思いました。

大野誠矢

ぼくは村上さん鎌田さんの話を聞いて
改めて地震はとても恐くておそろしいと
思いました。自分はまだ2才で物心
つく前だったので覚えていません
しかし去年の3月11日の夜にこのころは
停電していて大変だったんだよ
と教えてくれました。これから生きて
いく中でまた東日本大震災のような
大きな地震におそわれるかもしれません
その時はこのVTRを思い出して、
どのように対策していけば良いのか
考えていきたいです。

藤井琥太郎

今日、動画で話を聞いて、地震はいつ
どこで起こるかわからない。だから
こわいんだなと思いました。
私は、残った人たちが、こうして当時のこと
を伝えてくれたことに感謝して、地震
がおきたときのために考えたいです。

大山 明莉

私は東日本大震災はそんなにおそろしい
ぐらいのじしんだと思いました。
自分達ももしかしたらそういうことを
けいけんするかもしれないと
思うとすごいこわいと思い
ました。

豊原あおい

私はビデオを見て、本当に怖いんだと思いました。私は、2才でそのころは、三重にいて、記おくもないけれど、その時起きていたものは今でも記おくに残るものだと感じました。「小学1、2年生の低学年は大泣きしていました。」そう聞いたとき、自分ではまだ体験したこともないのに「ゾワッ」としました。もう1つ私は怖い以外のちがうことも感じました。それは地震後のことのインタビューです。インタビューを聞いて、「限り、「故郷が1番だ。」そういう思いも感じました。震災していても、そうゆう思いが強いんだと思いました。私は、「この震災は怖かったんだよ。」と次の人達にも伝えたいです。

佐藤智ジ子

ユーチューブを見て当は、じしんがおお
いかったんだなと思いました。
水で、おぼれてなくなる人、家が水になな
がされちゃったのは、かわいそうでした。
テレビでも、すごいじしんでこわいなと
思いました。じしんがあると、ごはんも
食べれないし、家もないし、いろんなことが
かわいそうでした。

名前 若林 瑠菜

私は平和に自然のすばらしさを暮らせていることを当たり前に思っていました。ですがこのようなVTRを見て改めて自分達の安全さをうれしく思いました。
私は、東日本大震災は物心がつく前であまりよく覚えていませんし、大きな地震をしっかり体験したことがありません。
このように自分の故郷を離れなければならないつらさはよく実感できません。ですがつらさはよく分かりました。なので今の自分を精一杯楽しみたいです

鶴見 彩

ぼくはこの動画でお話を聞いて、
東日本大しんさいってかるいけど、本当
は、とってもこわいものだったと初めて
感じました。とっても勉強になりま
した。 アニセ ユウニオ

今日見せてもらったDVDがとても勉強になりました。まだ僕たちは3さいでしたのでのせいであまり、実感はしていません。しかし、このDVDやすい画を見て体で感じていませんが、自じ実感することができました。やはり人、どんな時でも郷ほ大切です。東日本大震災みたいな地震がおこってもますます生き残るということを大切にしていきたいと思います。おりがとうございました。この話を生かしてどんな事があってもくじけずにしっかりやっていきたいと思いました。

中西エラ

今日この動画を見て、まず東日本大震災で自分が生きている事に感謝しています。そして、こういう大震災は起きてほしくありません。なので、未来、将来、地震が起きない対策など、機械などができてほしい、作ってほしいです。それが、東日本大震災で、生き残ったから、二度と人が死なないように自分でその機械を作りたいです。

瑛仁

今日この動画を見て、すごくびっくりしました。ぼくはその時千葉に住んでたから記憶もないし、震度5弱ぐらいだったためあまり印象にのこらなかったけど、東北がこんなことになっているなんてしらなくて、すごく胸が痛くなりました。知り合いではないけど震災で亡くなった人たちの分も考えがんばって生きていきたいです。

古川拓磨

先生がDVDを見せる前に当時の生中継のニュースなどを見せてくれました。「死にたくな!!」とさけんでいた女の子がいました。それに加えて高さ十メートルの津波や爆発がおこったと思うと、今自分が生きていられるのはきせきだと生まれてはじめて思いました。災害がおこると、生活などもともとにくずれおちていくこともみなさんの話しを通してよくわかりました。私は、こんなおそろしい事がおこったときでも対しょできて、一人でも多くの命が失われないようにしなん訓練などをおこたわらないようにしたいと思いました。

貴彦妃

私は今まで、東日本大震災などの大きな災害について、あまりよく考えた事がありませんでした。しかし、地震の映像やこのDVDを見て、初めて本気で「怖い」と思いました。そして、そんな災害がまたいつ起こるのか分からない、ということが1番怖いです。しかし、もしもそうなった時、少しでも落ちついて行動できるようにならなくてはいけない、と思います。そのために防災を意識して、これから生きていきたいと思います。東日本大震災を見て「怖い」と思った今日を忘れずに、そして「怖い」だけで終わらせずに、少しでも災害に対応できるように今からでも準備していきたいと思います。私は、これからは災害を意識してしっかりと防災に取り組んでいきたいです。

繁松真結

ぼくは、話を聞いて、怖いなーとは思いましたが、見たことが起きないじゃないので、どんなかんじか分からなかったです。ただ、ゆれる事に来った事があるので、すごいゆれは分かりました。前に水素ばく発はそうとうヤバイと聞いたことがあるので、すが、こんなに時間がたってもり帰れないのは、知りませんでした。これから30年以内に、首都直下型の地震がくると言われているので、ちゃんと準備をしておこうと思いました。

山林　拓

ぼくは最初じしん程度なら大丈夫だろと思ってました。ですがこの動画を見てじしんのこわさにあらためてきづきました。もしも自分がまきこまれたらゾッとします。またこんなじしんが起きないことをねがっています。ぼくは起きたらすぐに走りながらおかにれんらくします。近くにいたら守ってあげたいなと思いました。そのためにやることはしくじないと思います。起きたらさいせんのさくをやることがじしんがあった時のたいさくかなへ と思いました。じしんはこわいとかいてる時も自分はそう思いました。

[illegible]

私はお話を聞いてこんな何年も経っているのにことこまかに話せるのは、それだけ東日本大震災の被害が印象に残っているからだと思います。その時のニュースは動画を見るまで知りませんでしたし、もしかしたらこんなに地震の映像をしっかり見るのは初めてかも知れません。東日本大震災の時の記憶はありませんが、とても怖いものだと思いました。故郷への思いはしっかり残っているし、「風がちがう」とか、なつかしいと思う気持ちは、とてもよく分かるなと思いました。

太田沙知子

私はお話を聞いて、じしんは、すごいこわいんだなと思いました。動画を見て、想像していたよりもゆれがすごくてつなみもすごいいきおいできていてこわいと思ったけど、これからは、じしんのたいさくなどをしたいと思いました。

太田美潤より

この話を聞いて東日本大震災の事がすごく身近に感じることができました。特に印象に残ったのが体育館に人が多すぎて自分達のスペースがないというのにおどろきました。
僕はこの話を聞いていつ地震がきてもいいようにしっかり準備をしなきゃだなと思いました。

三宅達平

この話を聞いてぼくは東日本大震災はその地域では大きな経験であり、すごい勢いで起きていつ被害がおよぶのかわからないので気を付けたいです。そのためいつ起きても対応できるようにも物やどこに集合するかなど事前から決めておくということをしたいです。六年二組 原千晴

東日本大震災の時 私は まだ2歳で 地震でゆれて 電車が止まったりしたのは お母さんなどから聞いた事は あるけど 実際自分では 何も覚てません。
でも、このDVDを見て 家の中では たなが たおれて 外では 津波などが 起こっていて それを見た時 とても胸が苦しくなりました。また みなさんの話をきいて 私には その辛さが ぜったいに 分からないけど みなさんは とても大変な思いをした事が 伝わりました。私は このDVDを見て「大変だったんだなぁ」と思うのでは無く また このような 地震が起きた時は いろんな人と

私は動画やDVDを見て 怖いなあと思いました。動画やDVDを見る前は あまり地震について 考えませんでした。でもあらためて 考えなきゃなと思いました。非難所のごはんが少ないと言っていました。私は その話を聞いて 今 用意すべきだと思いました。災害バッグの中に非じょう食などを入れて災害に備えておきたいです。

いつおきるか分からない。
これが地震のとても怖い所だなあと思います。

西村 朋花

東日本大震災に実際にあった人のお話を聞いて改めて震災は怖いと思いました。この前、クイズを出す機会があり、地球上でおこる地震のうち、10分の1が日本で起きている事を知りました。私は、あまり強い地震は体験した事がありません。ですので、お話を聞いて、災害は起こってほしくない。と思いました。今、このなにげない日々、これを日常と呼べるのは、ありがたい事だなと思い、同時に、自然災害が起こるのは しかたがない。でも、そこでは死にたくない。と思いました。だから、非常食の準備 ひなん場所の確認などは決して おこたってはいけないなと思いました。

竹田 泉の樹

私は東日本大震災がおきた時の映像を見て 自分が思っていたよりすごくゆれが強くて びっくりしました。
津波がすごく高くて どんどん近すいていて人がのみこまれていたのがすごくかわいそうだなと思いました。
被難所はご飯をあんまり食られていないのをしりました。
いろんな人がもくなってしまうのを防ぐためにも、日頃の被難訓練が大事だなと思いました。また被難所で生活している人もがんばってほしいです。

小室 花梨

被災したことのある方のお話を聞いて地震というのは本当にいつおこるか分からないんだなぁと思いました。最近では南海トラフ地震なんかがくるかもしれないという話を聞きますし、そうじゃなくても、私がこの文章を書いた1分後に地震がおそってくるかもしれない。なので気をぬいてはいけないんだと思い、この記憶は忘れたいに1分すれてはいけないなと思いました。

平塚麻糸吉

被災した方たちが一刻も早く震災になる前の暮らしになれればいいなと思いました。
地震はとてもこわいので、もっと防災に取り組まないといけないなと思いました。
震災の時の映像を見て、人の悲鳴がたくさん聞こえて鳥肌が立ちました。
家族も命を守れるようにひなんする場所をちゃんと決めておきたいと思いました。

神里 蓮

東日本大震災のひがいにあった人たちの話を聞いてぼくは、地震はとても怖いと思いました。ぼくは地震のげんいんがプレートだということを調べました。なぜ日本でおこる地震の数が多いのかも調べました。地震のひがいにあってひなんしても不十分な食料しかもらえなくて大変だなぁと思いました。

近藤椋大

ぼくは、これを見て被難訓練は大事だな、と思いました。被災した方たちもれいせいでいられないのにぼくたちに東日本大震災がおきたらパニックじょうたいになると思います。
しかも東日本大震災の事の画を見て「えっこんなにすごかったんだ！」と感じました。
最近東日本大震災の映画を見ていたのでさらにこわさがでました。その映画では水素爆のところがえがかれていました。ぼくは、これを見て本番にパニックにならないように被難訓練をいつも以上にしんけんにやります。

能渡晴基

ぼくは津波を見て津波は大きいなと思いました。今年でじしんのことがきらいなのにじしんはものすごくこわいなといかをしりました。なのでぼくはかなんとれんが一番大かなんだなと思いました。でもぼくはつなぎたいのはこわいと思いました。

山本蓮太

ぼくはこの話を聞いて自分もにたくないなと思いました。村上さんなどを経験しているんだなと思いました。神成潤吉

感想

いろいろな災害のスライドで、さまざまなひがい（地震・津波など）を受けると、大切な人や、家をなくしたり、多くの悲しい出来事が起こるけど、悲しんでいるヒマなんてなく、すぐにひなん所に行かなければいけない。こう言ったつらいことしか起こらないので、「災害」という物は、とても大変なことなんだなあと思いました。

ぼくは、この動画で見たことを災害時にいかして、多くの人がぶじに助かったらいいなあと思います。

あらためて災害はとても怖くて、大変だということを知りました。

ぼくは、災害のお話を聞いて、思ったことは、東日本震災で住む場所が無くなった人はひなん先に住んでいるみたいですが早くもとの場所にもどってほしいです。

じしんの時、皆すごく怖かったと思ったのでもうそれ程のじしんはなくなってほしいです。

- こんなに大変だったんだなと思いました。

  実際に小学校にいた人の話では子どもたちが、そんなに大変な思いをしたことを聞いて、

- 私の家は災害対策をあまりしてないので、しっかり対策をして、動画に映っていた人のように、強くなりたいです。

- 強い揺れはこんなに怖いんだととても肌に感じました。

  私はそういう困った人を助けてあげたいと思いました。

今はコロナウイルスというものがあるけれど東日本大震災の方がもっと大変そうだなと思いました。実際に体験してないから分かりませんがドンスなどがたお土産だろうなと動画をみて思いました。あとは学校の体育館にひなんしたらすごい人が大勢いたらやだなと自分は思いました。

。今まで3東日本大震災の話はたくさん聞いてきたけど、もう一度経験した人の話を聞いて、やはり東日本大震災は怖いと思いました。私が経験したことのある地震は立っていられないほどではなかったし、なにかが倒れてくることも落ちてくることもなかったのでびっくりしました。

ぼくはさっきのえいぞうをみてじしんはこわいがすごいと思いました。体育かんはぎゅうぎゅうぎゅうぎゅうでじしんはけっこうこわいのでとてもおそろしいです。

○ この動画をみて、あたりまえはあたりまえじゃないという事をあらためて実感しました。

○ 災害はいつ起こるか分からないという恐怖もあるので、災害に備える事（近くの非難所など）も大事だと思いました。

○ 動画を見て、物が落ちてきたり、窓が割れたり、車や建て物までゆれていたので、すごくこわかったです。

東日本大震災でばらばらになってしまった家族や家族を失ってしまった人はぼくにはわからないけどもしまたこのようなことがあればすこしでも笑顔にさせるために必要なことをしたい

もし学校（学校）で大きな地震があれば冷静になれないかもしれないができるかぎりはみんなを落ちつかせてだれにもけがはさせないようじょうきょうをはあくしたい。

もし地震（友達）で他県の人が来たのならすぐに友達になりスーパーの場所とか病院を教えてあげる。

東日本大しん災を経験した人の話を聞いて、ひなん所では本当にねる場所が写真を見てないなと思いました。食べ物も全然なくて大変そうでした。今までは自分の記憶がなかなかなので対したことないと思ってしまってしまいました。地しんがどうだけ怖いかしれて地しんのための準備をしたいです。

〈感想〉

私は災害にあった人たちのお話を聞いて本当に災害はこわいなと思いました。話をしていた人が言っていたようにいつ災害が起こるかなんて分からないしいつ死ぬかも分からないので地しんのほかにも火事など災害はバカに出来ないなと思いました。なのでこれからはちょっとの地しんでもつくえの下にかくれようと思います。

ぼくはひいおばあちゃんのワかいきの時に岩手県のかまいしという所に行った時に道路の中に津波の高さのひょうしきがあってその高さにびっくりしました。あと津波がきた時の写真とかもありました。家がくちゃくちゃになっていたりしました。やっぱり助け合いはとれかりもしていかなきゃいけないと思いました。もし自分たちもなるかもしれないので防災バッグは準備しておきます。

今のビデオを見て、東日本大しん災はやっぱり怖いなってそして今の生活をもっと改めようと思いました。

人だけの生活がどれだけ幸せかという事も、毎日パンとごはんを食べきまして伝わってきました。

またこんな災きょうだから仲間との絆、地域の人との協力が大切だということが分かりました。

そしてこの地しんを経験してきた人たちは本当にすごいなと感じました。

東日本大しんさいが~~[illegible]~~ものすごくたいへんだったのに南海トラフ大じしん、しゅと直下がたじしんのたいへんさがわからないし南海トラフ大じしんがくれば かくじつにふじ山がふんかするしそのぎゃくも十分ありえるのでこれから家でもぼうさい用品をそなえていかないといけないと思いました。そしてごきんじょさんたちとこうりゅうをふかめてもしものときに協力していかなきゃいけないとおもいました。

ぼくたちが生きている間にも東日本大震災と同じくらい大きい、南海トラフ地震が七割の確率で来るといわれてるので話していただいた三人がけいけんしたように食器棚やたんすが倒れたり窓がラスが割れたりして危険なことが必ず起きるので地震が起きたらすぐに身を守ることを心がけ、避難ができるようになったら避難をすばやく行い避難所ではげましあって乗り越えて新しい一歩へと全員がふみだせるようにしたいです。

とても、みなさんがいっしょうけん命に話していて、できるだけ分かりやすく、起きたことに感しんしてを伝えてくれていてとても分かりやすかったです。私的には話しているときとても必っしに話していたので、それほど怖かったんだなと私は思いました。

いろいろなさいがいとかあるけど自分たちはもおくにないからそのおそろしさや苦しさとかはわからないけど。

他の人から聞いておそろしさをもたずにやばそうだね～じゃなくてききかんをもった方がいいと思った

3人の人から聞いたけどひなんごしておなかがすいても食べる物がないというじょうきょうもがまんしないといけないじしんなどつなみはいつおこるかわからないからそこがこわいと思った

動画を見て思ったことは自分想像しているのと2倍すごくしすごく動画だけど怖わかったじさいにこれをたいけんした人はすごいなと思ったしもっとじしんが起こった時の対策をきびしくもたいと思う

私は、この動画を見て、実さいに、地震を体験された、方々の話の様子から、
「本当に大変だったんだな。」「地震って こわいな。」と、思いました。
地震の時の実さいの動画や写真を見て、タンスや棚、ガラスなど、
物がとにかく落ちていて、その地震の大きさ、おそろしさが分かりました。
また、ひなん所での様子や食事も、話していて、本当に、「大変だったんだな」
と、思いました。

東日本大震災は、自分が思っている以上に大変なものだったことが分かりました。経験した人の話を聞くと、震災のつらさだったり、怖さだったりが、口調や目で伝わってきて、本当におそろしいものだったんだと改めて、思いました。こういった災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。とても不安で怖いですが、そのために、経験した人の話もふまえて、今、できることと、それは、自分一人でできることかもしれないし、みんなでやるべきことかもしれないけど それを考えて、もしもの時のためにしっかりと備えることが大切だと思いました。

あらためて訓練って本当におこってるって思いながらじんけんにやることって大切だと思いました。
鍋田さんの言っていた通り、希望をもって、一日一日を楽しむ事の大切さを学びました。
とてもゆれがはげしくそしてこわいじんをのりこえられた方は、すごいと思いました。

東日本大震災で被害にあった人がまだ、しっかりとは帰ってないということを知った時、とても、おどろきました。
だって、地震が起こってから、9年たっているのに今だに帰れていないという事実に、私が知っている地震とはちがうと改めて分かったからです。
これから、また、あんなに大きな地震が起きたら私は対処が出来るのか不安にもなりました。
しっかり準備をしようと思いました

このお話を聞いて、自分にとっては当たり前だけど、他から見たら、それが当たり前じゃないということがよく分かりました。
自分は、毎日おなかいっぱいになるまでご飯を食べれるし、トイレも行けたい時に行けて、友達にも、会えて、それは、自分は、あたり前だと思っていたけど、大きな震災で、おなかいっぱいに食べれなかったり、トイレも、行きたい時に簡単に行けないし、友達にも会えず苦しんでいる人々がたくさんいると思います。
なので、こんな恵まれた生活ができるのは、自分を支えてくれる人々のおかげだと思います。なので一日一日、大切に生きていこうと思います。

私は、東日本大震災を実際には覚えていないけど、特に、震災が大きかった東日本に住んでいた人の体験は思っていたよりも、もっとすごくて、こわい体験だったんだなぁと思いました。私は地震などの災害がこわくて、あまり見ないようにしてたけど、しっかりと正しくこわがって知ることが必要なんだなあと思いました。

私は地震が起きた時まだ3才で映像の人達のようにしっかりと覚えているわけではないけど、映像の人達の言葉、実際の映像を見て私が感じたもの、感覚とは100倍以上もちがうなと思いました。いつ地震がくるかなんてだれもわからなかっただろうし、とても急だったと思うから準備もできてない状きょうでご飯もない、水もない(出ない)とても大変だったことが身近に感じました。今後私達が生きる中で必ず1回以上は大きな地震は起こると思うからその時に家族みんなでしっかりすごせるように準備などをしたいです。
災害をかるく思ってはいけないなと思いました。

〈感想〉
今回、私は改めて地震の怖さを知りました。災害があった二千十一年は、私はまだ三才ぐらいで、あまり覚えていません。ですが、宮城県などでは、震度6の強さの地震だったそうです。映像で地震の時の様子を見た時私はおどろきました。地面が割れたり、タンスがたおれたりしていました。私が今まで感じてきた地震とは全く違うナれの強さなんだなと映像からも伝わってきました。またひなん所の様子も人間まがギュうぎゅうにつめなければいけなさそうで、大変だと思いました。
高さ十メートルの津波が来たと言っていた時は、きっと想像できないぐらいの高さなんだなと思いました。私も、地震が来たら、とっさに自分の身をしゅ守することができる行動をとるように、日々訓練していこうと思います。